



中国四国ブロック農業大学校等プロジェクト発表会で発表する東君



「まずやってみる」

校長 爲計田 ひろみ

この一月に中国四国ブロックの農業大
学校生が鳥取県につどい、日頃取り組ん
できたプロジェクト学習の成果を発表・
交換しました。就農時に栽培を希望する
作物や新しい技術を試したり、現地で問
題となっていることを聞き取り、その解
決を試みたりと一人一人創意工夫をしな
がら様々な課題に挑戦していました。

いろいろなことを試し、時には失敗
しても、そこから学ぶことができるの
は農業大学校で学ぶ学生や研修生の特
権です。目の前の自分の課題に全力投
球するところから将来は開けてきます。

「まずやってみる」は、それぞれ背景
が違う中で、答えも一様でない問題を
解く時の基本姿勢です。自ら動くこと
で、たくさんのお会いが生まれ、応援
も得ることができます。

そんな経験を胸に、目標とする農業
人をめざして、急がず、一生懸命やり
ましょう。

H27年度

校内卒業論文発表会

を開催しました!!

1月13日、卒業論文発表会を開催しました。本校では、学生が自ら設定した課題の解決を図る「プロジェクト学習」を教育の柱にしています。そのプロジェクト学習の成果を、養成課程の2年生18名がそれぞれ発表しました。

校内審査で金賞に選ばれた東さん、銀賞の室さんは、鳥取農大の代表として中国四国ブロック農業大学校等プロジェクト発表会にも出場しました。そこで、東さんは優秀賞を受賞し、2月に東京で開催された全国プロジェクト発表会で、中国四国ブロックの代表3名のうちの1名として発表を行いました。



東 進寛 (野菜コース)

**ネットメロン“フェリーチェ”
で実家の経営改善**

今回、金賞を取ることができ、とてもうれしく思います。最後まで妥協せず自分なりに満足する発表ができました。また、その結果が“金賞”につながって良かったです。



室 慧佑 (花きコース)

**秋彼岸前出荷を目的とした
シンテッポウユリの栽培について**

金賞がとれず悔しかったです。たくさんの方の前で発表することができ、とても良い経験になりました。この経験を今後活かしていきたいと思います。



坂根 勇一 (野菜コース)

**プリンスメロン生産者の
もったいない病はなおるのか**

惜しくも第3位でしたが、自分なりに精一杯頑張れたので良かったです。皆さんもプリンスメロンを栽培するときは、“もったいない病”にならないよう、7果穫りを守りましょう。最後にご指導していただいた先生方、本当にありがとうございました。



意見発表会開催!



12月1日、校内意見発表会を開催しました。農業大学校へ進学を決めるに至った経緯や将来の就農に関する事など、農業に対する想いや日頃の学習を通じて考えていることなどについて、1年生22名が発表しました。

野菜コースの荒松さんは、学校代表として、1月21日に本県米子市で開催された中国ブロック農業大学校等意見発表会でも、堂々と発表を行いました。

(校内意見発表会の受賞者)

- **最優秀賞** 野菜コース 荒松卓哉さん 「農業へのイメージ改善について考える」
- **優秀賞** 野菜コース 小西大地さん 「農業の道」
- **優秀賞** 畜産コース 村上梨花さん 「愛玩動物と産業動物」

ヤンマー学生懸賞作文で “野菜コース・1年・石崎さん”が銅賞を受賞!

本校では、毎年、ヤンマー学生懸賞作文に応募していますが、今年も1年生22名が応募しました。今回は、「新しい農をクリエイトする」というテーマで、全国から790作品の応募があり、1月29日には東京で入選発表会が開催されました。入選発表会では、金賞1名、銀賞1名、銅賞10名の発表が行われ、石崎さんは、見事、銅賞を受賞しました。

審査員の講評では、“石崎さんの作文は、非農家の出身ながら農業に強い思いを持っている様子や夢に向かって動き出す過程が、若々しい純粋な気持ちで表現されていた”との評価をいただきました。石崎さん、本当に、おめでとうございます!!



アグリチャレンジ研修 いよいよ始まりました！

- 新たに農業を始める方向けの短期基礎研修「アグリチャレンジ研修」(公共職業訓練)が昨年11月よりスタートしました。
- 第1期研修を11月5日～1月29日までの約3ヶ月間実施し、平均年齢41歳の18名の研修生が座学講義、栽培管理実習、技能演習を通じて農業の基礎知識・基本技能を学び、それぞれの進路に踏み出したところです。
- 引き続き、2月10日～4月28日を研修期間として第2期研修を実施しています。

1期生の 研修の 様子

①座学講義

農業に従事する者の心構えのほか、農業経営、病害虫、土壌肥料、農薬、植物生理等の基礎を学習

②栽培管理実習

果樹、野菜、花き、作物、畜産の各専攻での各種作業実習を経験



野菜(白ねぎの収穫)



作物(黒大豆の選別)



畜産(子牛の体重測定)

③農作業技能演習

各種機械操作の基本、知っておきたい様々な応用作業等について演習



トラクターの操作



小農具の使い方



管理機の操作



刃の研ぎ方

④校外実習

JA直売所での販売実習や、県試験研究機関の視察、先進農家の経営訪問と実習



JA直売所での作業実習



県試験研究機関の視察



先進農家の経営訪問

研修生のコメント

- 幅広いカリキュラムを通じて、農業の基礎を一通り学ぶことができた。
- 初心者でも3ヶ月間で次のステップに進むきっかけができた。
- 研修を受講したことで農業法人への就職が決まり、道が開けた。
- 素晴らしい仲間に出会える機会となった



来年度の 研修実施 予定

	研修期間	募集期間	定員
第3期	平成28年6月7日～9月16日	平成28年4月26日～5月17日	各期 25名
第4期	平成28年10月7日～平成29年1月25日	平成28年8月1日～9月12日	
第5期	平成29年2月7日～5月19日	平成28年12月1日～平成29年1月12日	

※第3期研修以降、研修期間を約4ヶ月間に延長し実施します。



祝 卒業おめでとうございます

各科卒業生から1年生へ、1年生から卒業生へ
メッセージをいただきました。



卒業生からのメッセージ

この2年間は長いようで短い学生生活でした。入学当初は何も分からず不安でしたが、今では沢山の親友ができ、苦楽を共にした素晴らしい経験となりました。専攻では先生方に怒られながらも努力を重ね、人間的にも成長でき大変感謝しています。後輩諸君、短い学生時代、悔い無き充実した日々を送って下さい。

野菜科



卒業生へのメッセージ

ご卒業おめでとうございます。手間の掛かる私達に対し、いつも丁寧な教えて下さった先輩方、一生懸命専攻に打ち込む姿は憧れました。次は私達が野菜科を引っ張って行く番です。先輩方に追いつき、追い越せるよう頑張ります。今まで有り難うございました。

2年間という短い学校生活で、農業に関する知識や技術、社会人としての礼儀やマナー等、様々なことを学ぶことができました。在学中、色々ご指導して下さった先生方、一緒に作業をして下さった研修生の皆さんには、言葉で表せないくらい感謝の気持ちで一杯です。

私たちは楽しく実習ができ、毎日がとても充実していました。1年生の皆さんは、1日1日を大切に過ごし、充実した学校生活を送って下さい。また、新たな1年生と共に、明るくて楽しい雰囲気のある果樹コースとなるよう頑張ってください。

果樹科



ご卒業おめでとうございます。1年間と短い時間でしたが、先輩方と一緒に作業をする時間はとても楽しかったです。何も分からない私たちに、作業の仕方を優しく丁寧に教えて下さいました。先輩方から吸収したものを次につなげていきたいと思っています。

これから社会人として大変なことがあるとは思いますが、この学校で学んだことを活かして頑張ってください。

卒業生からのメッセージ

先生・職員の皆様には2年間大変お世話になりました。農業について何も知らずに入学した私が、担当したほ場や品目で何度も失敗してご迷惑をかけてしまいました。農大で学んだ「諦めず最後までやり抜くこと」を忘れず、社会に出てからも頑張っていこうと思います。



卒業生へのメッセージ

ご卒業おめでとうございます。先輩方と過ごした日々がもう1年になりました。思い返してみると長いようで短かったような気がします。私にとっては一緒に学んだ思い出はこの先ずっと私の宝物です。社会に出て様々なことがあると思いますが、頑張ってください。

作物科

私たちは、この2年間で農業や人付き合いなど様々な事を学ばせていただきました。

この学校を卒業するのは名残惜しいですが、卒業はそれぞれが「自分の農業」を探すスタートラインに立ったことを表しているのだと思います。

先生方、2年間お世話になりました。1年生の皆さん、学校とコースの事をよろしくお祈りします。本当にありがとうございました。



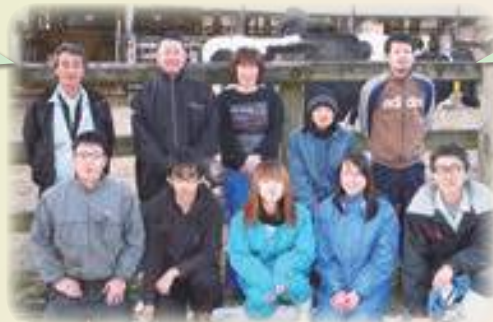
この度は、ご卒業おめでとうございます。

先輩方と比べるとまとまりのない自分たちですが、先輩方のように一致団結して頑張っていこうと思います。卒業後もいろいろ大変だとは思いますが、いつまでも明るく頑張ってください。

2年間お疲れ様でした。

畜産科

長いようで短い2年間でした。農業に関わるようになったのが大学に入学してからで、全くの素人からのスタートでした。私は非力故体力仕事が苦手で、更に同学年が1人であったこと等多くのトラブルに見舞われながらも2年間ひたむきに作業に取り組み、こうして無事卒業を迎えることができました。これも一重に力をお貸し下さった皆様のお陰です。ありがとうございました。



2年生の皆さんご卒業おめでとうございます。専攻の時には、作業のやり方など丁寧に教えてくださりありがとうございました。

学校行事、寮生活などでは、優しくしていただき、とても楽しく過ごすことができました。

先輩方はこれから社会に出られ大変なこともあると思いますが農大で学んだことを生かして頑張ってください。2年間お疲れ様でした。そして1年間ありがとうございました。

スキルアップ研修修了者の感想

花きコースでの専攻、様々な講義、視察等、様々な経験ができ有意義でした。また、他の研修生や学生、先生方との交流で、今までにない刺激や気づきを得ることができました。

今はまだ、農業という道の入口に立ったところですが、農大での経験を糧として、これからしっかりと歩んでいきたいです。



全国農業大学校等プロジェクト発表会に “野菜コース・東さん”が会場！

全国農業大学校等プロジェクト発表会が2月21日～23日に東京都内で開催されました。全国発表会へは、本校からは8年連続の出場で、東進寛さん（野菜コース・2年生）が発表しました。

東さんは、ネットメロン栽培を実家の経営に取り入れた場合の経営改善策についてプロジェクト研究に取り組み、卒業後の就農を想定した具体性のある素晴らしい発表を行いました。



「中国ブロック農業大学校研修生のつどい」と 「中国四国ブロック農業大学校等プロジェクト発表会」が 本県にて開催される!!

今年度は、鳥取農大が担当校となる行事がいくつかありました。10月8日～9日にかけて開催された“中国ブロック農業大学校研修生のつどい”では、蒜山高原スポーツ公園を会場に中国ブロック6校の学生が、ソフトボールと卓球で交流しました。

また、1月21日～22日にかけては、中国四国ブロック農業大学校等プロジェクト発表会が米子市を会場に開催され、10校から2名ずつのプロジェクトの発表がありました。発表以外にも交流会や現地視察が行われました。本校の学生は、交流会企画・運営や視察の案内などの準備にもしっかりと取り組むことができました。



モンゴル研修員の研修状況報告

「モンゴル中央県の農業研修員が農業研修を修了」

9月30日から2ヶ月間、モンゴル中央県バヤンデルゲル町職員ダシダワー・エンフスフさんが農業研修を行いました。熱心な研修生から、学生はたくさんの刺激をいただきました。



● 雇用就農相談会を農大で開催しました ●

近年、農大の学生は非農家出身者が約6割を占めており、また、農業者の皆さんからの求人も年々増えていることから、学生や研修生の就農と農業者の皆さんの人材確保につなげるため昨年から農業大学校で雇用就農相談会を開催しています。この会は、来年度以降も継続開催し、さらに鳥取大学など県内大学にも参加の呼びかけを広げていく予定ですので、求人予定の方は是非担当者にご相談ください。

